

明日の川越遺跡を考えるワークショップ

報 告 書

平成29年1月

島田市博物館

目 次

目次	1
1 ワークショップの実施に至る経緯	2
2 実施の方法	2
3 実施報告	
(1) 第1回実施記録	3
(2) 第2回実施記録	8
(3) 第3回実施記録	13
4 今後について	17

1 ワークショップの実施に至る経緯

江戸時代、大井川は徳川幕府の交通施策により渡船、架橋が認められず、東海道を行き交う旅人は、川越人足による肩車や連台に乗って大井川を渡った。このため大井川は東海道最大の難所として全国に知られ、明治維新後は川越制度の廃止により、旅人は船や橋を使って大井川を渡るようになった。

その後、川会所の建物を文化財として保護しようという市民運動の高まりから、昭和41年に大井川の川越しに関連する建物や遺構が残る旧東海道とその両側の土地が江戸時代の交通史を物語る貴重な遺跡として国の史跡に指定された。指定後は川会所の移築復元をはじめ、川越人足が溜り場として使用した番宿が復元整備され、歴史的景観が残る地域として市民や観光客に親しまれている。

しかし、近年、少子高齢化やライフスタイルの変化、空き家問題など、史跡を取り巻く環境は大きく変化し、今後、史跡の保全がより困難になることが予想される。このため島田市では次世代へ持続可能な遺跡の保存と整備を進めるため、文化庁や静岡県教育委員会の指導のもと、平成27年に遺跡の保護方針を定めた保存管理計画を策定し、平成29年には川会所や立合宿の復元整備を盛り込んだ整備構想を策定した。この整備構想の実現には遺跡を次世代へと継承していく市民の参加が不可欠であり、広く市民の声を史跡整備に反映するため、市民自ら遺跡の将来を考えるワークショップを開催した。

2 実施の方法

ワークショップの参加者募集に際しては、「広報しまだ」や市のホームページ等で広く呼びかけ、島田市内に在住・在勤・在学する高校生から70代後半までの19人が参加した。

実施にあたっては、あらかじめ参加者を年齢・性別・居住地・所属ができるだけ均等になるよう3グループに分け、各回の課題に対しグループごとに取り組んでもらった。また、ワークショップの実施日は高校生も参加しやすいように夏休み期間中に設定し、ワークショップ終了後、次のワークショップ開催日まで自分なりの考えやアイデアを検討できるよう期間をあけて実施した。ワークショップの実施日と実施内容については下表のとおりである。

実施日	ワークショップの内容
第1回 7月22日	遺跡の現状説明、整備計画・ワークショップの趣旨説明、現地点検、課題の抽出
第2回 8月6日	課題の分類・整理、遺跡の活用・改善策の検討
第3回 26日	遺跡の活用・改善策の検討、まとめ、発表

3 実施報告

(1) 第1回実施記録

開催日時	平成29年7月22日(土) 午後1時30分～午後4時40分
開催場所	島田市博物館 1階 整理工作室、川越遺跡
概要	市内に在住・在勤・在学の高校生から70代後半の方まで19人が参加し、川越遺跡より良くするためにどうしたら良いか考えるワークショップを開催した。参加者は川越遺跡のこれまでの経過や現状の課題についての説明を聞いた後、実際に川越遺跡とその周辺を見て周り、問題点などをチェックし、3グループに分かれて、それぞれ気付いた問題点等を書き出して情報共有を行なった。



左上：現地点検
右上：課題の抽出作業
左下：川会所での記念写真

グループごとの課題の抽出事項

Aグループ

良い点

1. 札場など扉を開けたままなので、興味を持ちやすい。
2. タイムスリップしたような空間にしたら素晴らしい遺跡になる。

悪い点

1. 車が良く通る。
2. 案内看板が小さく気付きにくい。
3. こどもから大人まで、外国人にもわかる表記がない。
4. 史跡に関する説明がない。
5. 遺跡の範囲の外になると風景ががらりと変わってしまう。
6. 外から来る人に川越遺跡があることが分かりにくい。
7. 新東海製紙の壁が殺風景。先に遺跡があるか分からない。
8. 自販機の色が風景を邪魔している。→色を茶色っぽい色に。
9. 蓬莱橋と川越街道とのつながりが弱い。
10. 飲食店、土産物店がない。
11. 飲食できるフリースペースがない。
12. テレビアンテナが街道に合わない。
13. 路線バスがない。(観光地として路線バスを通してほしい。)
14. 大井川堤防に昔風の信号をつけて欲しい。
15. 堤防から川の際まで整備して欲しい。
16. バリアフリー対応になっていない。(分館の敷居が高いので足の悪い人達が入りにくい。)

特徴的な点・その他気付いた点

1. 和泉屋さんのような駄菓子やさんに復活してもらいたい。
2. バーチャル・リアリティーの導入
3. お着物で来て、写真投稿。
4. 番宿でカフェをやる。(NHKハルさんの古カフェ系に出るのを目指す)
5. 人力車をやる。
6. 向島西バス停の名前を変える。
7. 三番宿などで定期的にヨガ、お茶、着付け、三味線、俳句など雰囲気合ったものをやる。
8. 番宿に当時の遊び体験コーナーを作る。(囲碁・将棋コーナー常設)
9. 良き場所「幸せポスト」(消印を特別なものに)のようなロコミで人気スポットになるようなものを設置。

- 1 0. 江戸時代を思わせる金魚を飾ったりする。
- 1 1. 桜堤防にベンチを設置する。桜を活かしたイベントをやる。
- 1 2. 堤防に双眼鏡を設置する。
- 1 3. 刀剣展に合わせたイベントをやる。
- 1 4. 井戸を使ったりできる体験が欲しい。

Bグループ

良い点

1. 八重樫と秋葉神社が2つもあってすごい。
2. 分館前に昔の川が残っていてすごい。
3. 川越茶屋の風鈴がきれいだった。
4. 建物・町並みが良く保存されている。
5. 分館がとても落ち着く。
6. 風情を感じる。(旧道の完治が出ている。)
7. 静かな環境を保っている。
8. 史跡がコンパクトである。(まとまっている)
9. 駐車場が広い。無料である。
- 1 0. チラシ・地図が見やすい。
- 1 1. 文化・資料的なものが多い。(博物館・川会所)
- 1 2. 昔の状態をイメージしやすい。
- 1 3. 川札の説明が細かく書かれている。

悪い点

1. 土産物店がない。
2. 食べるものを売っていない。
3. 土曜日なのに観光客が少ない。
4. 駅から場所が分かりにくい。
5. 車が多くて落ち着かない。
6. 空地が目立つ。
7. 東海パルプの壁がつまらない。
8. 統一感がない(家並みなど)。町並みと関係ないつくりの家があった。
9. 細かいところが残念なところ。
- 1 0. 防犯設備が整っていない。
- 1 1. 分館の料金が少し高い。
- 1 2. 住民にとって制約されている。

特徴的な点・その他気付いた点

1. 松並木があったとは知らなかった。
2. 芭蕉にちなんで句会をやってはどうか？
3. 住人との交流（老人会・こども会・婦人会）があるといい。
4. 中山道の馬籠みたいにしてない方がいい。

Cグループ

良い点

1. お土産屋がある。
2. 屋号がいい。
3. のんびりしている。雰囲気がいい。（木造の家や田んぼも）
4. 島田大堤の桜並木がいい。
5. 電線がないのが良い。
6. 地域住民と話ができる。
7. 小川がある。
8. 仲間の井戸がある。
9. 水路の水が澄んでいる。
10. 現存する川会所は島田のみ（大きなアピールポイント）
11. 地割が残っている。
12. 小さな神社（八重杵稲荷・秋葉神社）
13. 玉石と草
14. 川役人・人足の人形（イメージしやすい）
15. 案内看板がある。
16. 町並みの連続性（同一素材で造られた建物群）

悪い点

1. 自販機が雰囲気を壊している。→自販機を木目調にする。
2. 民俗資料室がせっかく面白いものが揃っているのにアピール不足？
3. 高齢者に優しくない（スロープなどが無い）。
4. トイレがない。
5. 車が良く通る。
6. 所々に普通の家が建っているため歴史の文化が感じられない。
7. 芭蕉句碑の台が貧弱。
8. 案内看板が統一されていない。
9. バスが通っていないので駅からのアクセスが悪い。
10. 日本語表記しかない。
11. 番宿が無人（単に展示物になっている）。

- 1 2. 各番宿の入口から裏口へと通り抜けができないので、行き止まり的な雰囲気になっている。ゆっくり中まで見る気がしない。
- 1 3. 仲間の井戸の位置がみつけづらい。
- 1 4. 雑草が目立つ。くもの巣も
- 1 5. 住環境と一体化。（住民の暮らしと関係。車の出入りと人の往来と両立が困難）
- 1 6. 演出が足りない。

特徴的な点・その他気付いた点

1. せぎ跡 大井川の広さを実感できる。→うまく表現したい。
2. 本当に買いたいものを創る。
3. 川越は男の溜まり場。→女性目線からの川越は取り入れられるか？
4. “ここが川越だ” というSNSスポット
5. 秋葉神社・八重杵稲荷神社を関連付ける。
6. 歴史的景観を活かす（桜井邸で映画ロケ）
7. 県内外へのPR活動（たくさんの人に知ってもらおう）
8. 井戸（あまり現代では見る機会がない。中を見るだけで驚きあり。）
9. 川越遺跡って何があるの？
- 1 0. 「人を呼ぶ」 どのくらいのスケールをイメージするか？
- 1 1. 何をウリにするか？
- 1 2. お金のかけ方をピンポイントに。
- 1 3. ヒストピアってなに？
- 1 4. ターゲットはだれ？
- 1 5. 宿泊機能（合宿所）
- 1 6. 仲間の宿を布ぞうり作りの場に。
- 1 7. 番宿の裏が広くあるので、通り抜けして庭園をつくりゆっくり見学してもらおう。
- 1 8. お化け屋敷をやっては？
- 1 9. 人形がしゃべるとGood！
- 2 0. 人足・川役人・町娘のコスプレ写真を撮る
- 2 1. 体験型のものを増やす。連台を見るだけでなく乗れるようにできないか？
- 2 2. 写真を撮りたい人が多い。
- 2 3. ハカリ体験に（分館）
- 2 4. 職員の制服の演出

(2) 第2回実施記録

開催日時	平成29年8月5日(土) 午後1時30分～午後4時30分
開催場所	島田市博物館 2階 講座室
概要	前回、グループごと書き出した問題点等を整理し、課題の抽出を行なったあと、遺跡の活用・改善策を話し合い、整備案を考えた。



グループごとの協議

左上：Aグループ

右上：Bグループ

左下：Cグループ

A グループ

1. 課題

① イベント・文化財施設の活用

- ・番宿の活用が求められる。
- ・川会所のアピールが必要。
- ・番宿の扉の開放の継続。
- ・井戸を使った体験が欲しい。
- ・博物館と川越しの連携

②案内・サイン

- ・字が小さい
- ・音声ガイドが欲しい。
- ・外国語表記が必要。
- ・バス停の名前を変える。

③交通

- ・昔風の信号を設置して欲しい。
- ・蓬莱橋と川越街道を結ぶ。
- ・コミュニティーバスを通してほしい。

④道路

- ・道路がバリアフリーになっていない。
- ・交通量が多い。
- ・車が来たことが分からない。
- ・道が狭い。

2. 活用・改善策

- ・字を大きく目立つようにする。
- ・QRコードを活用。
- ・4ヶ国語表記
- ・バス停の名前に遺跡の名前を付ける。
- ・陳情や署名活動

- ・迂回路の設置。
- ・車の通行時間規制。

3. 整備案

Bグループ（1）

1. 課題

①景観の統一感がない。

②空地対策

③既存の家の施設

④アクセスが分かりにくい。

2. 活用・改善案

・景観の統一をもたせる。

・空地を利用して新しい目玉を作る。

・既存の家と両立により景観を良くする。

・アクセスを分かりやすくして寄りやすくする。

3. 整備案

・景観に合う自販機に変える。

・観光案内所をつくる。

・規定を作ってリフォームしてもらう。

・新しいバス停を作ることによってアクセスを分かりやすくする。

・区画整理する。

・アンテナをとってしまおう。

・既存建物を古い感じにリフォームまたは移動。

・直行便を作る

Bグループ（2）

1. 課題

- ⑤防犯対策（空き巣と火事） ⑥近隣住民との関係 ⑦車両・交通（観光地内） ⑧売店が少ない。

2. 活用・改善案

- ・防犯を良くしたい。 ・お互いの理解を深める。 ・交通の危険をなくす。 ・売店がほしい。

3. 整備案

- ・警備会社に頼む。 ・住人との交流 ・住宅用通路を通す。 ・川越し限定グッズ
・地元のガイド ・通行規制にして歩行者天国に。 ・ゆるキャラ
・ゴミの清掃を地元の人に頼む。 ・道路の警備（生活道路） ・周辺に店を増やす。
・その他管理をお願いする。 ・食べ物おみやげ複合施設

Cグループ

1. 課題

①景観

- ・混在
- ・管理不足
- ・雰囲気

②交通

- ・車の通り多さ
- ・制限速度
- ・交通アクセス

③観光

- ・高齢者対策
- ・トイレ
- ・おみやげ

1. 活用・改善案

・製紙会社の万年塀をデザインして欲しい。

- ・景観法指定
- ・ゴミ置き場の改善
- ・ビオトープ
- ・看板

- ・スピードを出しにくくする道
- ・バス増便
- ・新バスルート
- ・バスツアー
- ・連台越し復活

- ・休憩所
- ・水車
- ・裏庭
- ・店を増やす
- ・古民家カフェ
- ・体験施設
- ・シェアアトリエ
- ・イベント開催

2. 整備案

- ・ボランティア募集
- ・大学と連携

- ・迂回路をつくる。
- ・人足募集

(3) 第3回実施記録

開催日時	平成29年8月26日(土) 午後1時30分～午後4時30分
開催場所	島田市博物館 1階 整理工作室
概要	<p>前回、グループごとまとめた課題、遺跡の活用・改善策、整備案を検討したが、改善策、整備案づくりが難しく行き詰ってしまった。中でも各グループがやりたい事業について絞りこんだ整備案をまとめてもらった。</p> <p>最後に、11月11日(土)に開催を計画している「川越遺跡講演会」で各グループの整備案の発表を参加者をお願いした。</p>



Aグループ

すぐにやれること

タイムスリップの空間にする

1. 番宿でカフェをやる
2. 人力車をやる
3. 江戸時代を思わせる金魚をかざる。
4. 幸せポストの設置

1. 番宿でカフェをやる

- ・本格的なお店でなくても番宿でワゴン販売してみる。
- ・昔を思わせるお弁当と言えば助六寿司を番宿で売ってみる。
- ・島田でとれたお茶を使用する。
- ・高校の文化祭などに出演して知名度を上げる。
- ・地元の高校が交替でカフェをやっていく。各高校が特色あるカフェをやっていく。
- ・島田のお茶を使ったメニューを出す。
- ・着物を着て楽しんでもらう。
- ・創業したい人にチャレンジしてもらおう。
- ・高校生による江戸緑茶カフェを土日で開店。まずは10月か11月に試験的にやってみる。

2. 人力車をやる

- ・着物を着てのれる。着物レンタル
- ・引く人が昔の人の服を着る。
- ・人力車の常設 職員が空いた時間に車を引く（時間未定）
☆出会ったらラッキー！！をキーワードに。
- ・近隣高校生による人力車。当番など作ってみる。（やってみたい子達でチーム作る）
カッコイイ子がやると人が集まる。その親たちも集まり自然とSNSで発信する人が集まる。
- ・人力車は人が多く来ると思われる。週末にだけやるようにする。
- ・人力する人には川越遺跡の歴史をガイドとして伝えてもらう。
- ・人力車の形にこだわり、他の地域にあるものと同じではない形、たとえば向かい合わせ4人位乗れる人力車。
- ・人力車（明治）と江戸時代の駕籠を配置する。駕籠は大八車に載せ移動しやすくする。
本館は駕籠から、分館は人力車でどうか。試みにやってみる。文化の日とかに。

3. 江戸時代を思わせる金魚をかざる。

- ・大奥の座敷に出てくる様な。
- ・江戸時代からいるような動物をどこかで飼う。
- ・番宿の中に金魚をかざる。

- ・番宿の通りに水を張り昔風の金魚すくいをやる。料金は入場券の中に含めてやる。
- ・紙つるし金魚をつくり番宿につるす。
- ・昔話のできる年配者の方に店番をしてもらう。金魚すくいと昔話をセットにしておこなう。
- ・影絵をやる。
- ・江戸時代の金魚鉢を各番宿に置く。折り紙の金魚を飾る。

4. 幸せポストの設置

- ・幸せポストに手紙を入れた人にカフェの割引券をあげるようにして、両方を利用してもらうようにする。
- ・川越遺跡のキャラクターを作って、幸せポスト限定の消印に使う。
- ・ポストのストーリー…例えば、3回願い事をしてから投函すると願いが叶うらしい、とか。考えればいろいろあり。
- ・どこにもないような色のポストにする。
- ・時代を越えて幸せの思いは共通！博物館本館前の黒ポストと分館の赤ポストを活用するここだけのストーリーを作り投函する人を促す。ハガキをデザインし博物館の売店で売る。ここだけのストーリーとここだけのハガキ。
- ・ポストは複数つくり設置する。特色あるハガキを販売し、来客に親しい方へ便りを出してもらう。ハガキで川越遺跡を全国に伝える。
- ・着物を着た写真をとり（シール）ハガキに貼り、川越遺跡の楽しい今の瞬間をハガキで親しい方に送る。

住む人にも訪れる人にも心地よい

Bグループ

① 観光

島田を代表する土産所に！

- ・限定グッズ、ゆるキャラ、食べ物、お土産 複合施設
- ・地元のお店が出店できるスペースを作る。
- ・バス停を近くにつくる。イベント時のシャトルバス。アクセスを良くするための道の整備。

宣伝をする

- ・パンフレットをたくさん色々な所に置いてもらう。
- ・ゆるキャラで人を呼ぶ。
- ・写真映えするスポットをつくり、若者を呼ぶ。
- ・スタッフガイドさんなどに当時の格好で案内してもらう。（レンタル可能）
- ・演劇部や高校に当時の格好をしてもらって劇や演奏会を開いて人を呼ぶ。
- ・番宿で川越しの知識を学べるようにもっと説明ボードやガイドを増やす。

- ・町並みを整える。着物などのレンタル、着付けなど写真を撮りたくなるものを置く。公式アカウントで、SNSなどで宣伝。

イベントを開催する

- ・地元のイベントからコンサートなど幅広くイベントを開催。(それに併せて店の出店)
- ・イベントをしやすい場所を作る。川会所をステージにできるように。
(広さ、電気、水道、排水、インフラなど野外でも使えるように)
- ・朝顔の松公園の活用、トイレの整備、CGやプロジェクションマッピング映像とのコラボ。公園の再利用。←高校生のアイデアと主催
- ・ゆるキャラのデザイン、名前の募集。
- ・地元の学生コンペでグッズ・土産物を作ってもら。(小・中・高や子供のアイデアを!)
グッズ例) お茶を使ったおかし、島田のさくらごはん(しょうゆごはん)、川越ししている人の箸置きとか・・・服とかふんどし!
- ・予約で民泊体験をしてもらう。(お風呂は近くの風呂屋へ)

②活用方法

番宿の有効利用

- ・水道、シンクがない。
- ・IHが使えるようにしたい。電気の容量が少ない。

Cグループ

【魅せる観光】

- 雰囲気を生かしきれていない!
- 人をうまく呼び込めていない!

川越○○街道計画

① EVENT

春 川越さくら街道

- ・着物ファッションショー
- ・桜をテーマにしたグルメ登場
- ・ミス&ミスター川越コンテスト

夏 川越納涼街道

- ・200mの肝だめし(日本一長い)
- ・笹舟競争(景品豪華)
- ・200mの風鈴

秋 川越芋街道

- ・200mの焼き芋無料提供(目黒のさんま祭り)
- ・イモアートでイモに触れる(イモアーティスト、イモ判)

① 川越わら街道（仮）

- ・ しめ縄作りのワークショップで日本文化体験
- ・ わらじを作って街道を歩く
- ・ 寒風を生かして干し〇〇の体験と食べちゃう

② PERFORMANCE

フォトジェニック（写真映え）

- ・ 島田市職員の制服見直し
- ・ 子供向けに「町娘」、「飛脚」、「人足」、「代官」etc
衣装を貸し出す！ ぜひ年賀状に！
- ・ そうじを魅せる（めざせディズニーのキャスト）
- ・ ここにしかない看板や交通標識

地元高校生と連携

- ・ 川越しだんご 商品化（他に悪代官だんご 小判入り）
- ・ 古民家を活用した店舗リノベーションを担当（カフェ・アトリエ…）
- ・ 観光バスツアーの企画に参加（ボンネットバスとか）
- ・ 看板製作

4 今後について

今回のワークショップでは年齢・性別・所属の異なる参加者が川越遺跡の抱える問題を積極的に出し合い、課題の解決や活用・改善策の検討を行い、夢のある整備・活用案を考えていただいた。これらの意見やアイデアは今後の整備を考えるうえで大いに参考となるものであり、川越遺跡整備に際しての財産となった。

今後、これらの意見やアイデアについては外部有識者で組織する島田宿大井川川越遺跡整備委員会や庁内関係部課長で組織する島田宿大井川川越遺跡整備基本計画策定委員会において協議し、整備基本計画に反映するとともに、実施が容易なものについては随時実施していきたい。